

□議員名：中島好人

1 令和5年度藤田市長の施政方針について

論点	自治基本条例の前文「協働して」をなくして、「協創の考え方を共有しながら」になぜ変えたのか。これでは単なる理念条例にすぎないではないか。
回答	協創の考え方には、協働が含まれている。審議会では、協働を一步進めた協創の考え方を踏まえ、改正することを検討され、答申を頂いた。

論点	「協創の中に協働が含まれるので変わりありません」と事務局は答えているが、理念と実際に汗を流して行動していくことは全く違うではないか。
回答	令和3年3月に策定した協創によるまちづくり推進指針において、協働を進化させた協創の基本的な考えをまとめた指針、自治基本条例の理念を尊重し策定するものなので全然違うというものではない。

2 生活保護行政について

論点	誰もが生活に困った時に生活保護制度があると分かるようなポスターを作成したらどうか。
回答	現在、生活保護のしおり、市のホームページを通じて制度の周知を図っている。今後も充実させ、さらなる周知を図っていきたい。

3 市営住宅行政について

論点	宇部市では、65歳以上の方が高層から低層の住み替えの希望に診断書なしで実施している。本市もそうした要望に応えたらどうか。
回答	審査を客観的かつ公平に行うため、診断書等の提出をお願いしている。

4 若年がん患者への在宅支援について

論点	宇部市では、4年前から支援制度を創設しており、リース代の9割
----	--------------------------------

	を助成している。本市も制度を創設し、自宅で最期を過ごせるようにしたらどうか。
回答	現在のところ、どのようなニーズがあるのかなど実態把握に努めているところで、それを踏まえて、必要な支援を検討して行きたい。